

[年度] 令和4年度和歌山県農林水産試験研究成果情報

[成果情報名] マルアジの資質含量の特徴～特選出荷に向けて～

[担当機関名] 水産試験場資源海洋部

[連絡先] 0735-62-0940

[専門分野] 水産

[分類] 普及

[背景・ねらい]

マルアジは、本県における重要魚種の一つであり、その多くは主幹漁業であるまき網漁業で漁獲されています。本種は夏場（産卵期）の脂が抜けた時期に大量に漁獲・流通するため、加工向けの安い魚というイメージが定着していますが、秋から冬には脂がのって大変美味しくなると言われています。マルアジのマイナスイメージを払拭すべく、まき網漁業者を中心として、脂が乗ったマルアジを「特選」として出荷する取り組みが行われており、その取り組みに寄与すべく、脂質含量の多い時期や魚体サイズの特定、脂の乗りを判定する方法の検討を行いました。

[研究の成果]

1. 各月の脂質含量の平均値は、産卵が終了する9月以降に上昇し、10-12月にピークになることが分かりました。また標準偏差が大きいことから、個体毎の脂質含量はばらつきが大きいことが分かりました（図1）。
2. 10-12月に漁獲された個体について、体重と脂質含量の関係を見たところ、体重の重い大型の個体の脂質含量が高いことが分かりました。また大型の個体でも脂質含量の低い個体が混ざっていることが分かりました（図2）。
3. 肥満度と脂質含量との間で比較的高い相関が得られたことから、肥満度により脂の乗りが良い個体を選別できると考えられました（図3）。

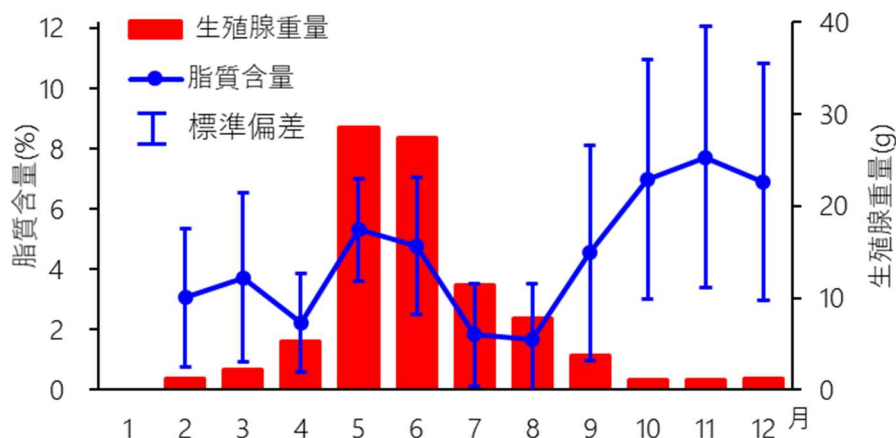


図1 各月の生殖腺重量と脂質含量の推移

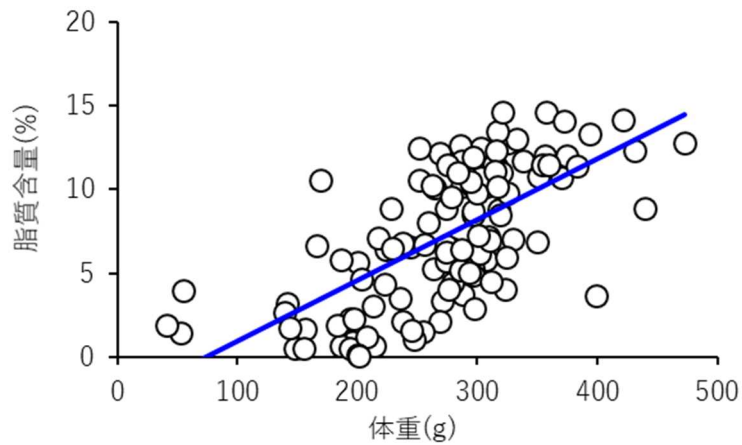


図2 体重と脂質含量の関係（10-12月に漁獲された個体）

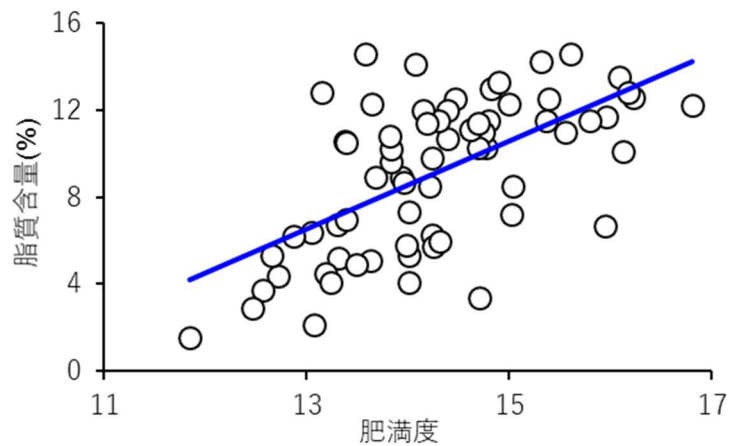


図3 肥満度と脂質含量の関係（10-12月にまき網で漁獲された250g以上の個体）

※肥満度：(体重-生殖腺重量)/体長の3乗

[成果のポイントと活用]

脂質含量は10-12月に高くなり、同時期の脂質含量は体重が重く、かつ肥満度の大きい個体ほど高いことから、特選として10-12月に漁獲された中で体重が重く肥満度の高い個体を選ぶことが望ましいと考えられます。

[その他]

予算区分：県単（農林水産業競争力アップ技術開発事業）

研究期間：令和2～4年

研究担当者：高橋芳明

発表論文等：なし

ホームページ掲載の可否：可